

参考文献のあげかた

レポート本文の中であげた引用、参照・参考文献は、すべて最後に参考文献として全部のリストをあげます。

参考文献をあげるのは、読み手が引用の内容を確認するために必要だからです。参考文献があがっていないと、論文の内容のどこからどこまでが本当のことで、誰が主張していることなのか確認することができません。論文の内容が信用できないものになってしまいます。論拠が論拠として成り立つために、きちんと参考文献をあげる癖をつけましょう。
(文中での引用、参考のしかたは、「引用編」を参照してください。)

文献をどこにどのような順であげていくかは、各専門分野、各雑誌、各先生等の指示にしたがってください。

以下では、10枚程度のレポートで使いやすい代表的な例を提示します。

正式な学術雑誌の論文ほど細かい決まりごとが決められています。詳細については、次のウェブ・サイトを参照してください。

SITS 科学技術情報流通技術: <http://sist-jst.jp/index.html>

日本心理学会『投稿の手引き』: <http://www.psych.or.jp/publication/inst.html>

【参考文献リストの決まり事】

1. 文献リストをのせる場所

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1. 脚注の場合 | 1 ページごとに注番号順にフッタ（ページの下）にあげる方法 |
| 2. 章ごとにあげる場合 | 章の終わりに注番号順にあげる方法。 |
| 3. 論文の最後に一度にあげる場合 | 巻末に章ごと、あるいは全部を論文の本文の後ろにあげます。 |

2. 文献リストをあげる順の3つの方法

1. 注番号順にあげる方法

本文中の引用箇所の最後に注番号をうち、その番号順にリストを作成します。

ここではこのやり方で説明しています。

2. 執筆者・著者名・編者を和書・洋書に分けて50音順、アルファベット順にあげる方法

洋書の参考文献が多いときは分けて書いた方が読み手にとって参照がたどりやすくなります

3. 執筆者・著者名・編者を一緒にアルファベット順にあげる方法

3. 文献リストに必要な情報（引用したい箇所のメモやカードをとるときには、必ず一緒に記録しておきましょう）

1. 執筆者（著者、編者）名

二人以上の場合は・で続けます。3人以上の場合は"・他"とします。

2. 刊行年次

発行した年です。改訂した場合はその年も書きます。再版の場合も改訂がなければ初版の年を書きます。

3. 『文献の表題・副題』

(論文の場合；「論題」、『雑誌名、巻・号』 外国文献の場合；"論文タイトル"、本のタイトル、雑誌名)

本の表題は必ず二重カギ括弧『』に入れます。雑誌論文の場合は論文名を一汁カギ括弧「」、雑誌名を『』に入れます。

外国の論文の場合、雑誌論文のタイトルはダブル・クォーテーション” ”に入れ、本や雑誌名は斜体（イタリック体）で表記します

4. 出版社名（海外文献の場合は出版社の所在地も必要）

5. 引用箇所のページ

【参考文献リストの書き方の例】

■日本語文献の場合

著者名（刊行年） 「表題」 出版社（雑誌名 巻・号） ページの順で書く

〈参考・引用文献〉

- (1) 山本敏久 (2003). 『発達心理学概論』 構文新社 pp.57-64
- (2) 花田孝 (1986). 「小学校入学時の学力に影響を及ぼす社会経済的要因分析」『松島大学人間科学部紀要』 87,pp.18-20
- (3) 渡辺正・原山元雄・高尚良 (1764). 「社会科新分野における授業展開例」 畑山弘（編）『授業研究』 双葉出版 pp.457-462

■外国文献の場合 [著者名（刊行年）. 表題. 所在地：出版社. ページ.]

- (1) Bachen,H.C.(1986). "*The Emotional behavior in the Classroom*". New York: Bright Stone Pless. pp.78-89

■インターネット資料の場合 [著者名、年号、資料題名、サイト名、アップデート日、〈URL〉、(資料アクセス日)]

※ インターネットの場合はどこまで調べられるかが難しいのですが、最低限、①サイト名のタイトルと②URL (ホームページのアドレス。必ず 〈 〉 の中に書き入れましょう)、③アクセス日を書き入れましょう。

- (1) 滝沢智「アジアの貧困と水問題について」「環境の世紀 12」講義録 (2005)
第三部：様々な立場と取り組み 第9講 2005年9月6日 東京大学 環境三四郎
〈 <http://www.sanshiro.ne.jp/e-century/index.htm> 〉 (アクセス日：2006年5月20日)

■ 著者名の 50 音順、アルファベット順に並べる場合には、番号を打たずに並べて書きます。

① あいうえお順の場合

- 明石屋いわし(2012) 『はなかつおの研究』 佃煮出版 pp.24-35
石原紋次郎 (2010) 『アイドルの日常研究』 ゴシップ出版社 pp.58-78
岩崎あゆみ (2015) 「大学教員の歌唱力比較調査」『狭島大学紀要』 3号、p.23

:

② アルファベット順

- 麻生二郎 2017a 『派閥の悲劇』 行政大学出版会 pp.32
麻生二郎 2017b 「大臣の人間性から探る政治史」小泉赳夫編『日本の行方』 政府出版 pp.42-45
Clinton, Billy & Clinton, Hally,2025 *Desirable Relationship of the Married Couple*, American Politic Press, New York, pp243-252
橋本小二郎 2013 『兄弟関係が政治ダイナミクスに及ぼす影響』 物見堂 pp.45-65